

参考にて魅力アップ目指す

～フレッシュ朝市視察研修～

女性部黒石支部フレッシュ朝市（種市アツ子会長）は7月27日に視察研修を行いました。

部員16人が参加し、フレッシュ朝市の運営の参考にするため「道の駅津軽白川ビーチにしめや」や「JAひろさき直売所四季彩館」を視察しました。また、ブナの里白神館では全体会議を開き、今後の販売方法などについて協議しました。



視察研修を行ったフレッシュ朝市

家の光のレシピを活用

～女性部みなみ支部料理教室～

女性部みなみ支部（齋藤政子支部長）は7月28日、本店で料理教室を開き、部員10人が参加しました。

家の光の掲載レシピを活用し、エコープマーク商品の「ほめられ酢」、「旨！だしパック」、「米こうじの甘酒」を使用して「鶏肉とサツマイモの南蛮漬け」、「甘辛こんにゃくのおかかまぶし」、「バケット甘酒ケーキ」を作りました。

女性部員は「とてもおいしかったので、家でも作って食べたい」と話しました。



料理を完成させた女性部員

知事が生産者を激励

～高品質りんご生産に係る現地激励～

三村申吾知事は7月12日、県が実施している「高品質りんご生産に係る現地激励」のため、黒石市の倉内信一さんの園地を訪問しました。地元生産者や黒石市長、JA津軽みらいの役職員ら約50人が参加し、三村知事が生産者を激励し、高品質なりんごの生産を呼び掛けました。

三村知事は「皆さんが生産した品質の良いりんごのおかげで販売を頑張ることができている。消費者は品質の良いものを必ず選んでくれるので、適正着果で栄養を集め、最高のりんごを作ってほしい」と激励の言葉を述べました。生産者との意見交換では、コロナ禍での国内外への販売戦略を強化してほしいなどの要望がありました。また、三村知事が園主の倉内さんと一緒に摘果作業を行う姿も見られました。

最後に参加者全員がガンバロー三唱を行い、高品質生産に向けて士気を高めました。



倉内さん（右）と摘果作業をする三村知事（左）



生産者との意見交換

※新型コロナウイルス感染防止対策として、マスクの着用、開始前の検温などを徹底しました。